

2009年度 追手門学院大手前中・高等学校 学校評価結果

【学校生活・総合】について

少人数を生かした個別指導や、生徒諸君の一人ひとりのところを大切にするきめ細やかで、生徒の表情をしっかりと見つめた指導実践には、本年も高いご評価を頂いています。「学校は楽しい」、「子供の笑顔が嬉しい」、「熱意ある担任指導が満足」等々。円滑なコミュニケーションによる生徒と教員の素敵な人間関係があり、生徒の穏やかな表情の笑顔が絶えぬ学校とも評価されています。素直で地道に自ら学ぶ姿勢が習慣化し、学習姿勢も良くなり学習意欲にも評価の理由が窺えます。

【学習指導】について

教育改革5年目、すぐ上の学年の数値を超えること、学習の理解力を高めることを目標として、模擬試験でも偏差値が順調にアップしています。その一方で、生徒間の成績の差も表れつつあり、日々の家庭学習や基礎学力を定着するための方法や「学習システム - すらら」の導入などで、改善のための具体的な指導実践を学年・教科で考えています。また、昨年ご指摘のあった「授業の工夫、分かる授業の取り組み」の点では、「面倒見がよい」「授業が丁寧」の記述も多く見られます。

高校の「受験学習クラブ」では、放課後の学習や休日も登校して自学自習に励む生徒が多くなり、向上心・向学心も旺盛で、学びが楽しみとなり成績アップにも繋がっています。

【生活指導】について

毎朝の校門での明るい元気な挨拶、良い表情の登校は嬉しいことです。一人ひとりをしっかりと見つめたきめ細やかで温かな指導が大切であると考えています。校内でも、大きな声での挨拶が交わされ、「明るい学校」と来校者からもお褒めをいただいています。教育環境の完備が、快い挨拶とともに、生徒の言動にも反映し、生徒指導上の問題は高校ではほとんどなくなり、高学年になるほど指導の成果が現れ、「社会有為な人材の育成」にも繋がっていると考えています。

温かな中にも信頼ある厳しい指導が、本校の良い点として十分に理解され、生活習慣の確立から自律心の陶冶となっています。また、「本校は人間関係を築く楽しい場として充実している」の評価は、全学年を通じて高い数値で、生徒・保護者ともに高い満足度となっています。

【行事・クラブ活動】について

自治会指導部では、クラブ活動の活性化の指導のため、「学習は授業で取り組み、放課後はクラブ活動」と呼びかけています。クラブ加入の生徒数も年々増加し、狭隘な校地の中ですが、熱心な教員の指導もあり、意欲的で活発なクラブ活動となっています。

大学進学のみ偏ることなく、生徒を育成するための体験的な学校行事も好評です。

今後も、生徒の人間形成や心身の成長の大きな力となり、良好な人間関係の構築のためにも、より良い内容を検討し推進していきます。

【進路指導】について

教育改革の成果である大学合格実績を出すことを全教員一丸となって推進してきました。昨年度と比べ、教科力・授業力のスキルアップとともに、適切な進路指導が三者懇談などを通して実施されていると評価もよくなっています。模試データを元に、高2・高3生徒一人ひとりについての成績を検討する協議や、懇談を通じた弱点補強策・学習方法の指導や「大学進学検索システム」を利用した指導も定着しました。これらは、生徒の学習意欲を高めることにも繋がり、志望大学への進路実現が楽しみとなっています。

【保護者連携】について

インフルエンザに関わる保護者の皆様への緊急連絡については、『学校報』『PTAニュース』『学年通信』や『WEB』上での連絡、『メール配信』が効果的かつスムーズに活用され良好に機能したことが分かりました。今後の予期せぬ事態の準備にもなりました。保護者の皆様のご協力に感謝し厚く御礼申し上げます。

保護者の皆様のご家庭でのご指導は、本校の教育を支え、生徒と教員との距離を近づける指導となっています。言うまでもなく、保護者・生徒・教員の三位一体の指導体制は、子供の成長に不可欠で大切なものです。

保護者懇談の定例化に加え、日々の何気ない生徒との会話や生徒との懇談をより多くして、生徒の「表情の気づき」を大切にされた早期からの事前指導にも心掛けています。

【施設・安全管理】について

本館が完成し、立派な施設・設備が整い、「環境は人を育てる」の言葉の通り、学習姿勢をはじめ意欲にも通じ、生徒諸君の表情がより潑刺とし、礼儀・マナーも一段と良くなっています。

本年の第58期生卒業記念品として、念願の「学校史年表パネル」が完成し、玄関廊下壁面に設置しています。新年度には、中高の創立60周年を迎えます。今後の「自校教育」指導の一環として、より多くの伝統の内容を顕彰・検討しつつ、教育理念に基づく教育及び愛校心を育む教育を推進したいと考えています。

【次年度の改善と取り組み】について

1. 大学入試の結果を第一義とした教員の教科力と担任指導力の向上に向けて、大学入試の指導力アップと授業力アップのための研修を継続実施します。
2. 「こころの教育」（マナー教育、ボランティア教育、心理カウンセリング、環境教育、人権教育、国際教育、読書指導、伝統芸能鑑賞など）の内容検討と実施を推進します。
3. 募集定員の確保。厳しい入試環境を認識の上、全教員が一致した志願者増とレベルアップを考えてた広報活動の強化に努めます。広報戦略として、大学入試結果や模試データなどの教育成果をもとに、塾・私立小への訪問活動を全教員で地道に行います。
4. 学内他学舎との人事交流、研修制度の整備と実施を推進します。
5. 現状における南館リニューアルと二期工事の検討を進めます。
6. 創立60周年記念事業の推進、ビジョン120に基づく将来計画を検討します。